

やすづか学園開学30周年記念事業

開学の感謝の気持ちを込めて、30周年を振り返り、地域に貢献し、未来を共に築いていく。この30年、皆様のご理解とご支援のおかげで、やすづか学園は、地域に貢献し、未来を共に築いていく。この30年、皆様のご理解とご支援のおかげで、やすづか学園は、地域に貢献し、未来を共に築いていく。

フリースクールの これからのを考える シンポジウム

2026

8/22 土

13:00- 16:30

会場：安塚コミュニティプラザ

新潟県上越市安塚区安塚777

参加費：無料

プログラム

12:30 受付

13:00 開会 オリエンテーション

13:10-14:05 講演

「未来の教育と多様性

～多様な学びの選択肢が社会を豊かにする～

教育の「当たり前」が揺らいでいる今、
みなさんと一緒にフリースクールの存在意義を再定義しましょう。



朝倉 景樹 氏

NPO法人TDU・雫穿大学 理事長
NPO法人フリースクール 全国ネットワーク理事
PANKA ACADEMY (FINLAND)
教育科学・学校運営・国際教育担当顧問

14:15-15:15 分科会 詳細は裏面へ

15:25-16:15 パネルディスカッション

孤立させない不登校支援

「学校に行かない」のその先へ

16:15-16:30 まとめ・閉会

これからの教育の話をしよう



フリースクールに興味のある方へ

- ・子どもと学校との関係を考えたい方
- ・フリースクールについて知りたい方
- ・他地域行政の事例を知りたい方
- ・子どもをどう支えたらいいか知りたい方
- ・これからの教育について考えたい方

上越市地域独自予算事業

主催 | やすづか学園30周年記念事業実行委員会

他地域の支援の
取り組みはようになって
いるのだろうか

分科会プログラム 14:15-15:15

三つの分科会から
一つ参加希望を
お選びいただけます。

① フリースクールを支える官民の関係性～行政支援の先駆的事例～

全国でも注目されてきた元安塚町の行政支援を引き継いで継続している上越市の行政支援と長野県の認定制度の紹介です。長野県の事例は、認定制度によって、フリースクールの質と安全面管理の担保を高めており、運営費の職員人件費：補助率4分の3などをはじめとする充実した支援内容をご紹介します。



矢野 学氏 やすづか学園創設者

元 安塚町町長・上越市議会議員・新潟県議会議員。現 社会福祉法人 越後上越福祉会 理事長を務める。平成8年4月に初代学園長、故三浦良久と共に廃校になった菱里小学校を再利用し、不登校の子ども達の居場所として「やすづか自由学園」を開学。当時の安塚町町長として「現 やすづか学園」の行政支援を行い、これまでの運営の基盤を作った。



竹内 延彦氏 長野県山ノ内町教育長

20代で出会ったフリースクールを原点に、企業、NPO、行政と立場を変えながら30有余年子ども若者支援に携わる。長野県庁では自然保育の制度創設と普及推進、2つの自治体の教育長として「こどもがまんなか」の学校と地域づくりにも取り組む。多数の自治体のフリースクールの運営にも関心を持ち、教育行政の立場でフリースクールの普及啓発に努めている。



市川 寛氏 元長野県フリースクール認定制度検討委員会委員

信州フリースクール居場所等運営者連絡協議会副代表、経済産業省未来の教室とEdTech研究会ワークショップ専門委員、長野県教育委員会不登校児童生徒等の学びの継続支援に関する懇談会委員などを歴任。現在、長野市教育振興基本計画策定委員を務める。

② “学校への行き渋り”は地域で保護者を支えることが最優先 ～親のメンタルヘルス・こどもとの関わり方～

子どもが学校に
行き渋っている時に
どんなふうに
かかわったらいいのだろう

藤田 知也氏 上越市こども家庭センター

公認心理師・臨床心理士の資格を有し、博士（臨床心理学）として日本発達障害学会、日本カウンセリング学会等に所属し、論文も多数発表

【主な論文】

- ・破壊的行動を示す男児の父親に対する Russell A. Barkley 式 Parent Training Program の効果（子どもの健康科学：2026年）
- ・注意欠如・多動症が合併した反抗挑発症の児童に対する多職種連携による行動的介入の効果（日本認知・行動療法学会最優秀論文賞：2023年）
- ・インターネットゲーム障害と診断された児童に対する行動的介入の効果（特殊教育学研究：2024年）等

③ フリースクールの先の高校進学は今！上越の最新情報

ライトシップ高等学院 学院長 松本 将史氏

新潟県立海洋高等学校に16年間勤務した後、専門高校の新しい価値づくりを目指し、2018年に職業教育支援と水産加工を営む株式会社能水商店を創業。2025年4月には、日本初の本格的デュアルシステム（有給インターン）を基盤とする広域通信制サポート校「ライトシップ高等学院」を開校し、高校教育の新しいスタンダードの確立を目指している。

sky高等学院

株式会社リボン 明蓬館高等学校サポート校設置準備室室長 宮川 久良氏

中学校校長・私立保育園園長を歴任し、現在、内閣府認定特区高等学校（全国広域通信制）明蓬館高等学校（本校 福岡県川崎町）サポート校「sky高等学院（明蓬館SNEC新潟・上越）」として10月開校を目指している。「通学型・オンライン型の柔軟な学習スタイル」「発達特性・不登校経験のある生徒への配慮」「少人数・個別支援を重視した学びの場」。公認心理師・臨床心理士による相談体制により、生徒が自分らしく学ぶことが出来る学校づくりの推進を目的に開校予定。



フリースクールに通う
子どもたちは
どんな高校に進学して
いるんだろう



～自由の学び舎～ やすづか学園 30年のあゆみ



新潟県上越市安塚区に平成8年4月に開学。初代学園長、故三浦良久が当時安塚町長だった矢野学氏と共に廃校になった菱里小学校を再利用し、不登校の子ども達の居場所として「やすづか自由学園」を開学。その後、「自由の学び舎・やすづか学園」と名を変え、上越市の支援を受け、社会福祉法人上越市社会福祉協議会が公益事業として運営しています。「自尊互尊」の精神を大切にしながら、他者と関わりを持ち、自分らしく自分の人生を生き抜く人の育みを目標にしているフリースクールです。

問い合わせ先

社会福祉法人 上越市社会福祉協議会

～自由の学び舎～ やすづか学園

yasudukagakuenn.30th@gmail.com

TEL & FAX 025-593-2004

【申し込み方法】 申し込みメ切 7月31日

①右のQRコードで読み取り、申し込みフォームの入力
あるいは

②左のメールかFAXで氏名、ご住所、お電話番号、
希望分科会（第1・2希望を記入）をお知らせください。

